

2011年3月期 第2四半期決算説明会

2010年11月11日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics



第2四半期決算の概要 (連結)

1) 当第2四半期の決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

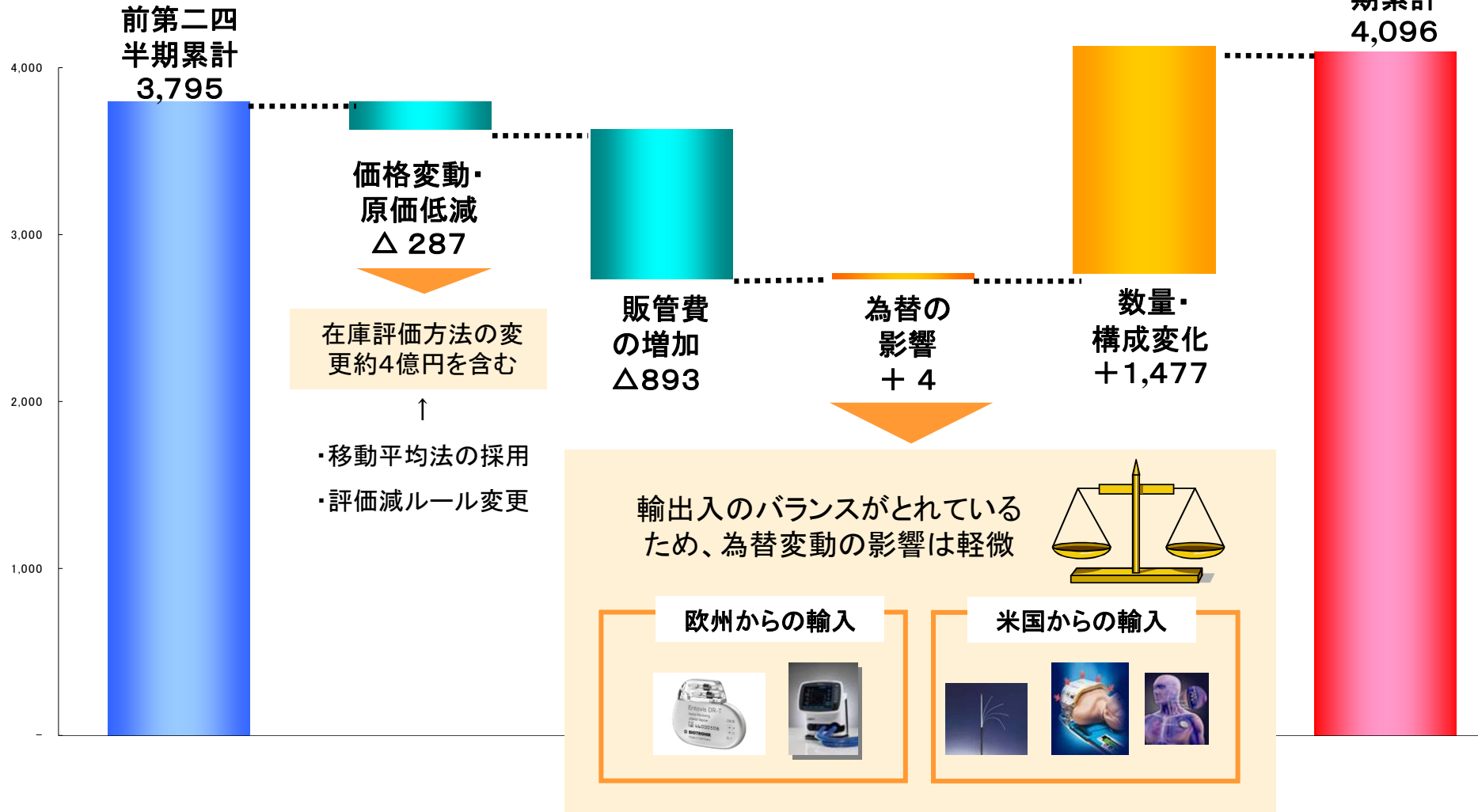
	前第2四半 期累計 (2009/9)	当第2四半期累計(2010/9)		
		期初予想	実績	対前年同期増減率 (%)
売上高	49,847	53,000	52,526	5.4
国内売上高	40,867	-	43,124	5.5
海外売上高	8,980	-	9,401	4.7
営業利益	3,795	4,000	4,096	7.9
経常利益	3,809	4,000	3,867	1.5
純利益	2,253	2,300	2,609	15.8

平均レート	(2009/9)	(2010/9)
1ドル	96	89
1ユーロ	134	113

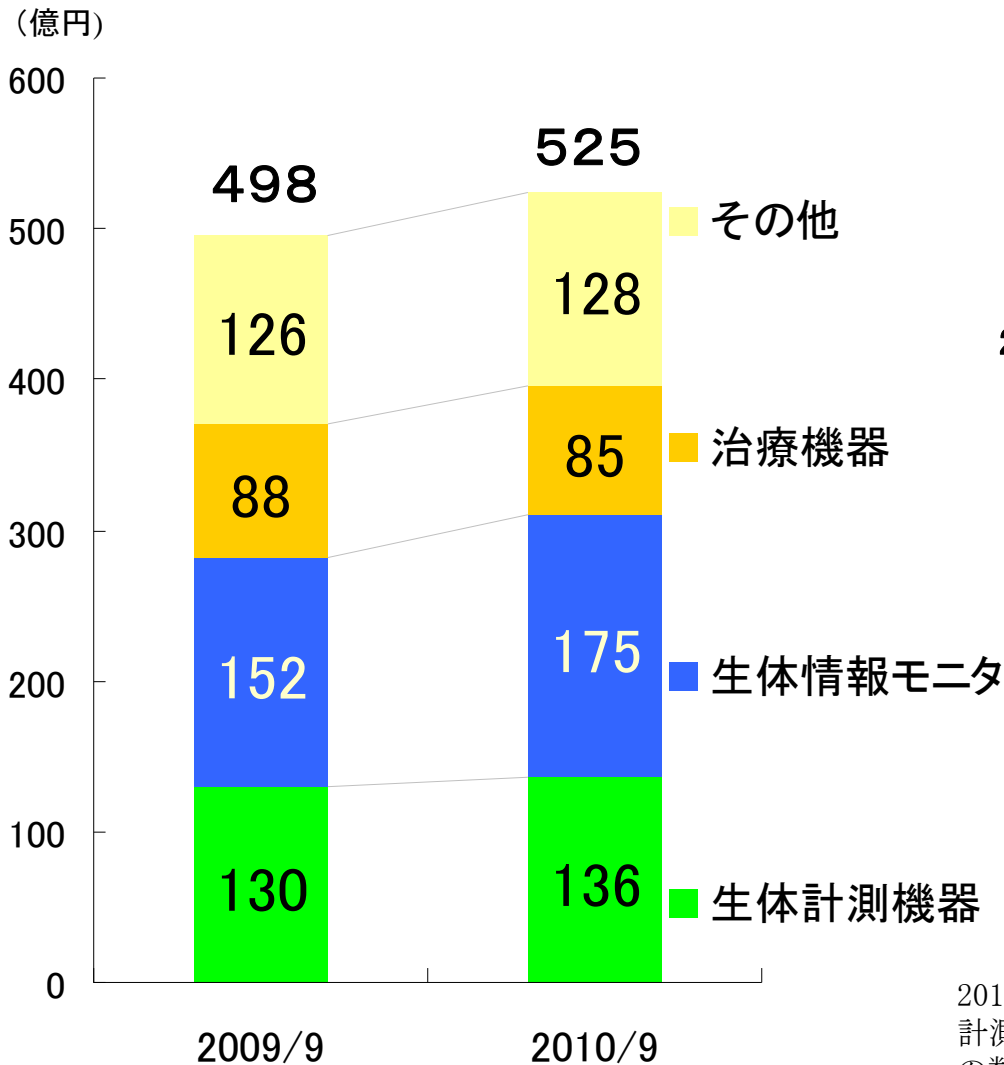
2) 営業利益増減の要因分析

(単位:百万円)

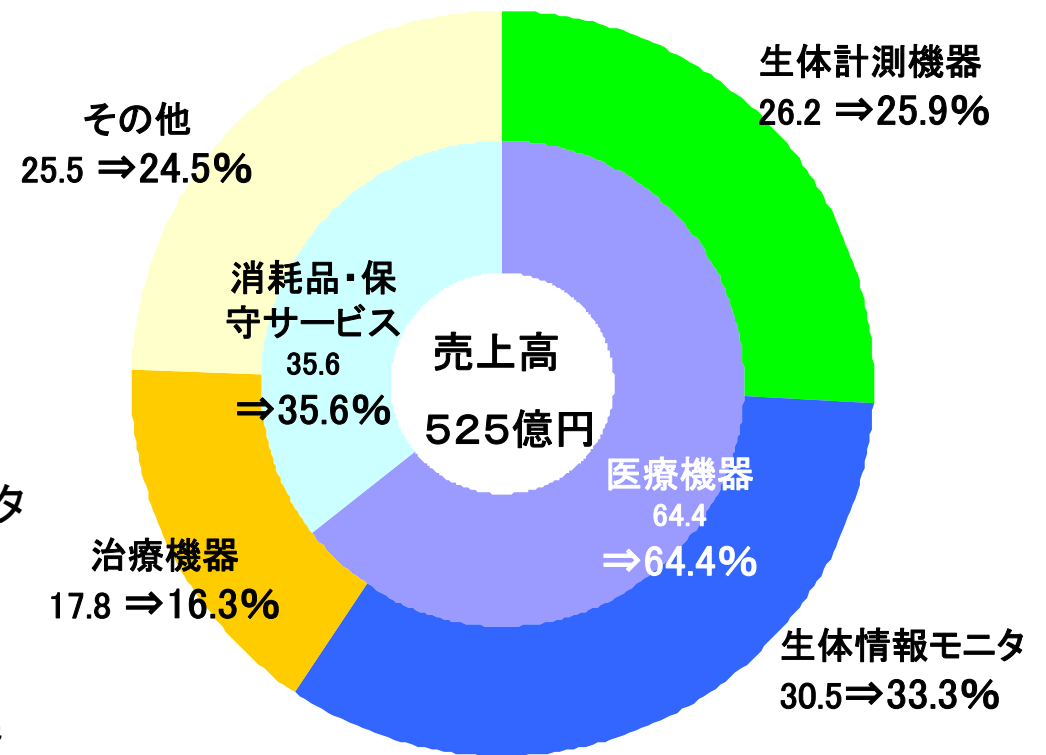
当第2四半
期累計
4,096



3) 商品群別売上高



商品群別売上構成比
(2009/9⇒2010/9)



2011/3期から、従来「医療用品」に区分していた消耗品・保守サービス等を、「生体計測機器」「生体情報モニタ」「治療機器」「その他」に組み替えています。2010/3期の数値についても同様に組み替えて表示しています。

3.1) 生体計測機器

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2009/9)	当第2四半期 累計(2010/9)	増減率(%)
脳 神 経 系 群	3,200	3,536	10.5
心 電 計 群	3,077	3,057	△ 0.6
心臓カテーテル検査装置	3,353	3,557	6.1
そ の 他	3,420	3,474	1.6
生体計測機器合計	13,051	13,625	4.4
うち国内売上高	10,483	11,083	5.7
うち海外売上高	2,568	2,542	△ 1.0

※ その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



脳波計 EEG-1200



心電計 ECG-1400



臨床用ホリグラフ RMC-4000

3.2) 生体情報モニタ

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2009/9)	当第2四半期 累計(2010/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	15,213	17,500	15.0
うち国内売上高	11,327	12,988	14.7
うち海外売上高	3,885	4,511	16.1



WEP-5200
シリーズ



BSM-6000
シリーズ



送信機
ZS-530P

3.3) 治療機器

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2009/9)	当第2四半期 累計(2010/9)	増減率(%)
医科向け除細動器	2,194	1,865	△ 15.0
A E D	3,328	2,500	△ 24.9
ペースメーカー・ICD	1,692	1,550	△ 8.4
人工呼吸器	752	965	28.3
その他	917	1,698	85.2
治療機器合計	8,885	8,580	△ 3.4
うち国内売上高	7,536	7,475	△ 0.8
うち海外売上高	1,348	1,104	△ 18.1
(参考)AED販売台数	17,200	12,500	△ 27.3

※AED販売台数には海外販売分を含みます。



AED-2100



心臓ペースメーカー
Entovis DR-T



人工呼吸器
HAMILTON-C2



モデル
人工内耳

3.4) その他

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2009/9)	当第2四半期 累計(2010/9)	増減率 (%)
検体検査装置	2,877	2,902	0.9
変成器、画像診断装置、研究用機器他※	9,820	9,917	1.0
その他合計	12,697	12,820	1.0
うち国内売上高	11,520	11,577	0.5
うち海外売上高	1,177	1,243	5.6

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



全自動血球計数器
MEK-6400

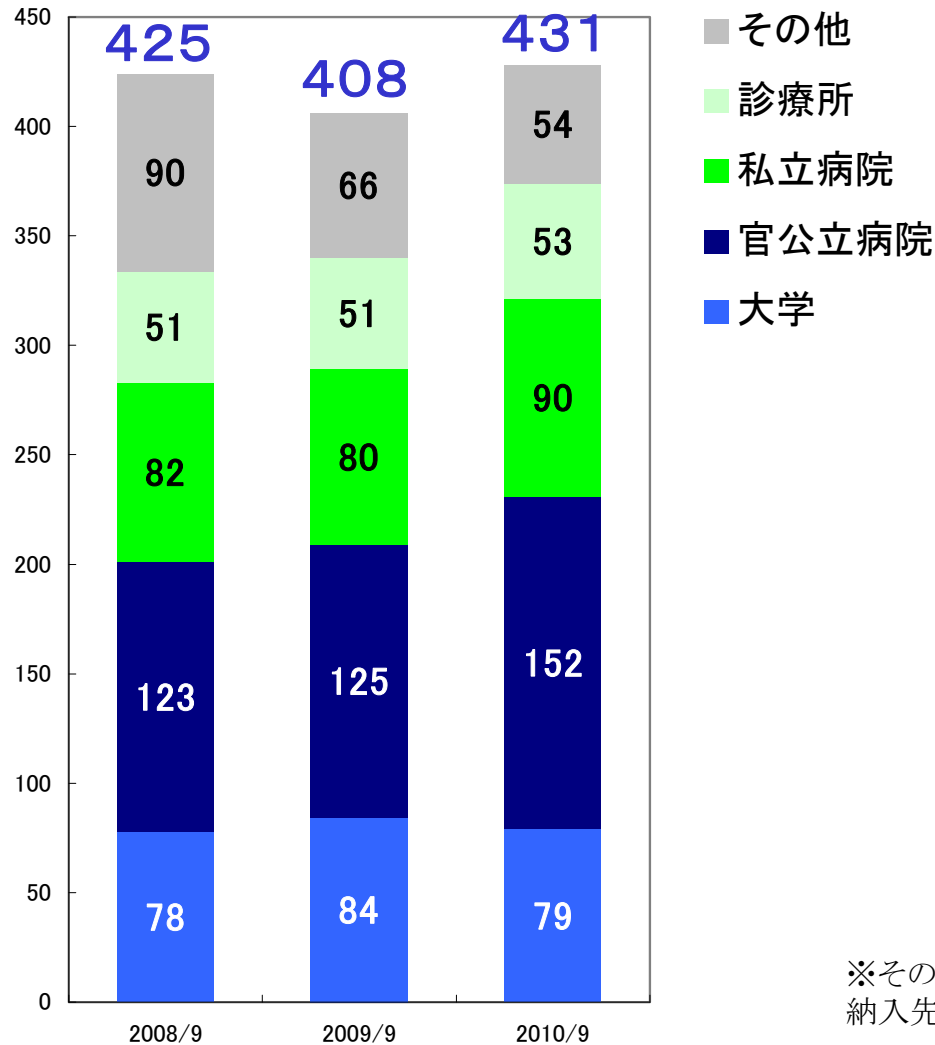


多チャンネルテレメータシステム
WEB-1000

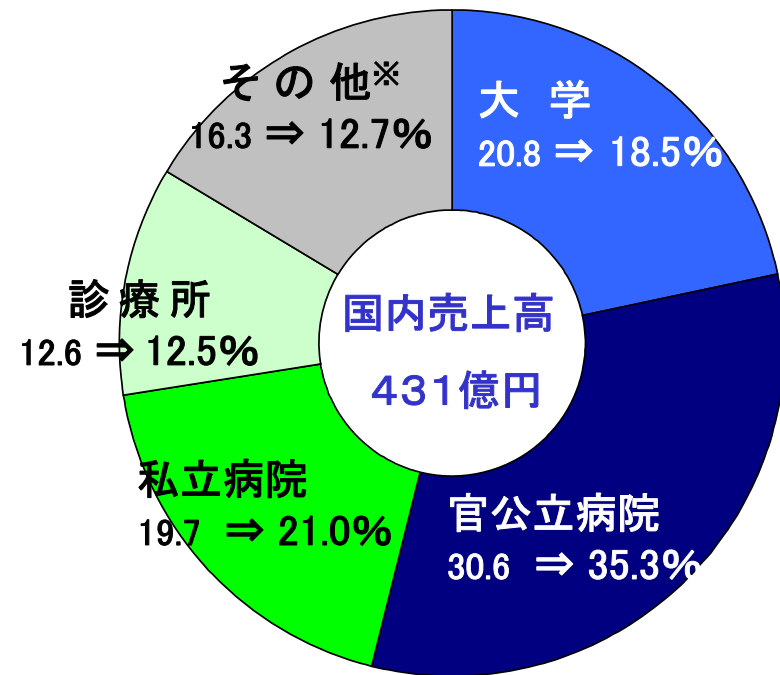
4) 国内売上高

(億円)

【市場別売上高】



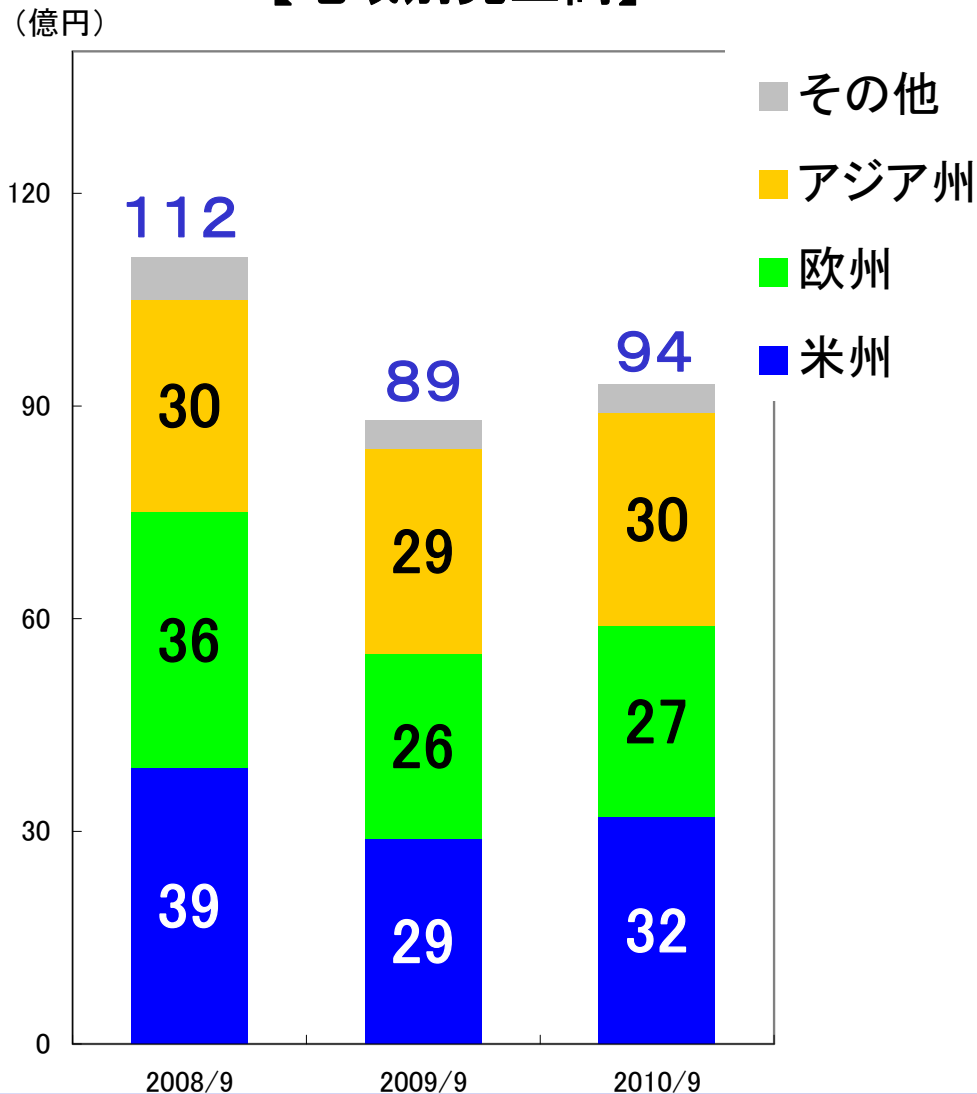
市場別売上構成比
(2009/9⇒2010/9)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

5) 海外売上高

【地域別売上高】

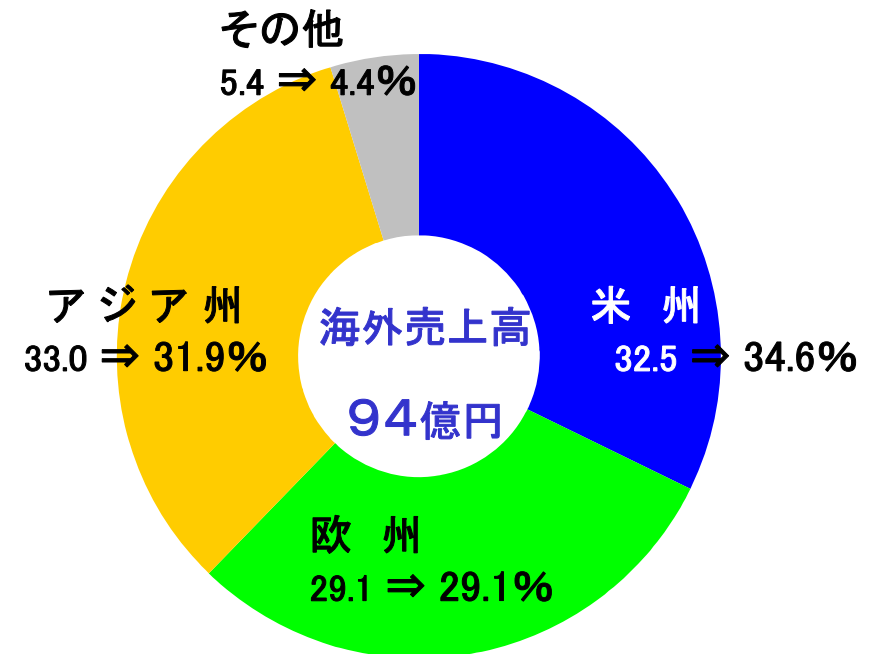


海外売上高比率

2008/9	2009/9	2010/9
20.9%	18.0%	17.9%

地域別構成比

(2009/9⇒2010/9)



6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 (2010/3)	当第2四半期末 (2010/9)	増減額
流動資産	69,685	66,573	△ 3,112
固定資産	18,315	18,196	△ 118
資産合計	88,000	84,770	△ 3,230
流動負債	29,722	25,081	△ 4,640
固定負債	329	454	125
負債合計	30,051	25,536	△ 4,515
純資産	57,949	59,233	1,284
負債・純資産合計	88,000	84,770	△ 3,230

上期末の取引に比べ年度末の取引が多いため。
 売上債権 △3,653
 仕入債務 △2,459

7) キャッシュフロー

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2009/9)	当第2四半期 累計(2010/9)	増減額													
I 営業CF	5,425	2,475	△ 2,950	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(09/9)</th> <th>(10/9)</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>棚卸資産の増減(△増加)</td> <td>1,579</td> <td>△497</td> <td>△2,077</td> </tr> <tr> <td>法人税等の支払額</td> <td>△1,213</td> <td>△ 2,380</td> <td>△1,166</td> </tr> </tbody> </table>		(09/9)	(10/9)	増減	棚卸資産の増減(△増加)	1,579	△497	△2,077	法人税等の支払額	△1,213	△ 2,380	△1,166
	(09/9)	(10/9)	増減													
棚卸資産の増減(△増加)	1,579	△497	△2,077													
法人税等の支払額	△1,213	△ 2,380	△1,166													
II 投資CF	△ 787	△ 1,516	△ 729	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(09/9)</th> <th>(10/9)</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有形固定資産の取得</td> <td>△586</td> <td>△1,093</td> <td>△507</td> </tr> </tbody> </table>		(09/9)	(10/9)	増減	有形固定資産の取得	△586	△1,093	△507				
	(09/9)	(10/9)	増減													
有形固定資産の取得	△586	△1,093	△507													
FCF	4,638	958	△ 3,680													
III 財務CF	△ 1,309	△ 576	733	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(09/9)</th> <th>(10/9)</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>短期借入金の純増減額</td> <td>△444</td> <td>327</td> <td>+771</td> </tr> </tbody> </table>		(09/9)	(10/9)	増減	短期借入金の純増減額	△444	327	+771				
	(09/9)	(10/9)	増減													
短期借入金の純増減額	△444	327	+771													
換算差額	142	36	△ 106													
増減額	3,472	418	△ 3,053													
四半期期末残高	14,669	16,749	2,079													

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計 (2009/9)	当第2四半期 累計(2010/9)	2010/3 前期実績	2011/3予想	
				期初	11/4修正
設備投資額	1,414	1,441	3,154	2,700	2,600
減価償却費	1,184	1,248	2,507	3,100	3,000
研究開発費	2,118	2,279	4,418	5,200	5,000

●設備投資の上期実績……新製品の「型」投資、販促用製品、測定器・治具、
上海光電試薬工場

●下期計画における主な案件……新製品の「型」投資、販促用製品、測定器・治具、
ERP

通期の業績見通し

1) 経営環境

- ・世界経済の緩やかな回復により、医療機器市場も改善傾向
- ・一方で、円高による輸出競争力低下懸念
- ・国内では、診療報酬プラス改定を受け病院の投資マインド改善

【海外】

現地通貨建て輸出の米国、欧州など主要市場は堅調

円建て輸出の新興国の一部では円高による競争力低下が懸念

【国内】

急性期病院市場は堅調

PAD市場(AED)は厳しい状況

2) 通期の業績見通し

(単位:百万円)

	2010/3 前期実績	2011/3予想		増減率 (%)
		期初	11/4修正	
売上高	107,013	112,000	112,000	4.7
国内売上高	87,439	90,000	91,000	4.1
海外売上高	19,574	22,000	21,000	7.3
営業利益	9,321	10,000	10,000	7.3
経常利益	9,343	10,000	10,000	7.0
当期純利益	5,917	6,300	6,300	6.5

海外売上高比率 18.3% 19.6% 18.8%

平均レート

1ドル	93円	90円	87円
1ユーロ	131円	130円	113円

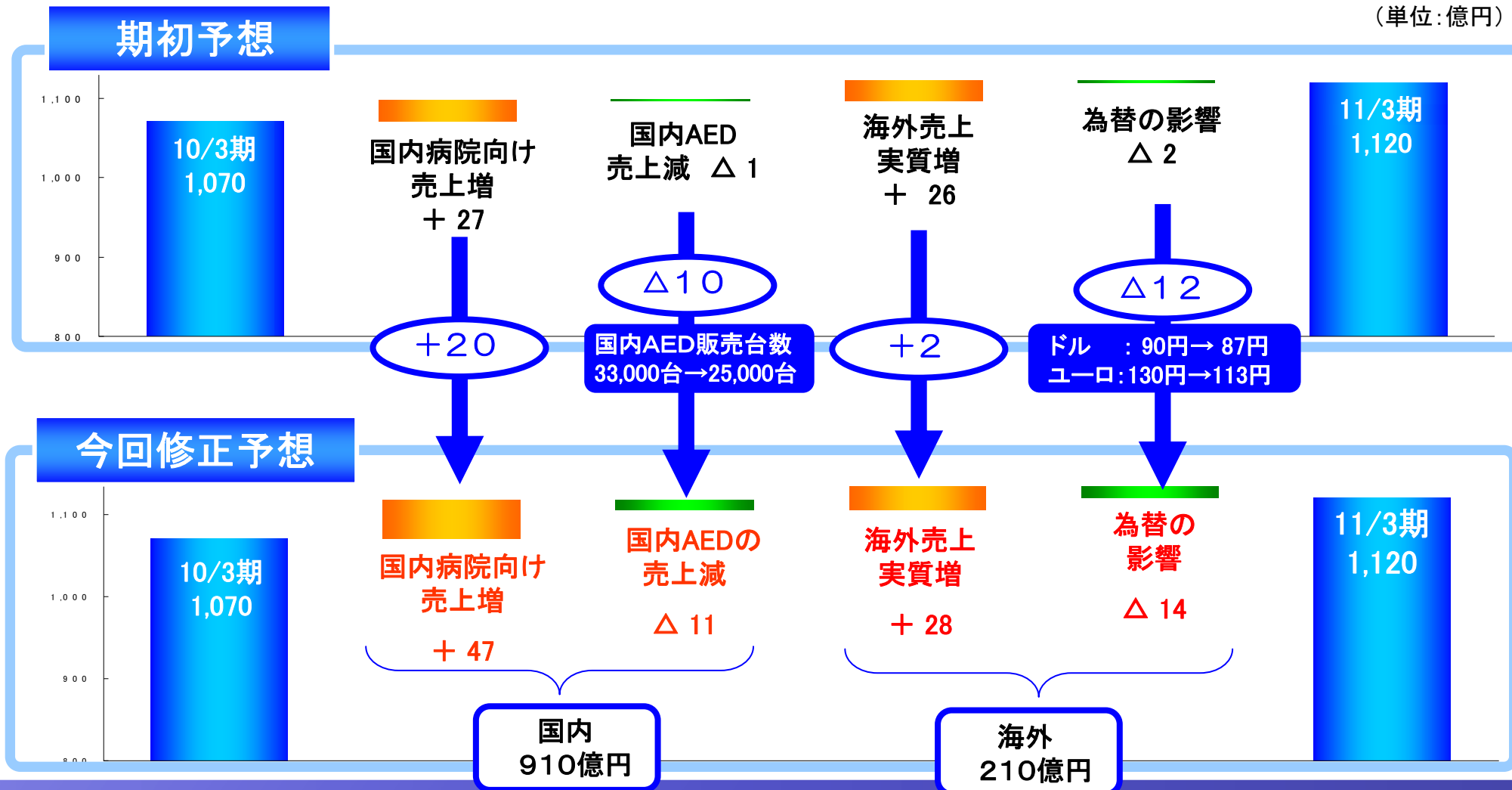
(下期)

84円
113円

3) 売上見通しの要因分析

【売上高】

(単位: 億円)



[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	2010/3 前期実績	2011/3予想		増減率(%)
		期初	11/4修正	
生体計測機器	27,976	31,600	28,800	2.9
生体情報モニタ	32,993	34,900	37,200	12.7
治療機器	19,352	20,900	18,400	△ 4.9
その他	26,691	24,600	27,600	3.4
売上高合計	107,013	112,000	112,000	4.7
(ご参考)				
消耗品・保守サービス	37,048	39,500	39,500	6.6

2011/3期から、従来「医療用品」に区分していた消耗品・保守サービス等を、「生体計測機器」「生体情報モニタ」「治療機器」「その他」に組み替えています。2010/3期の数値についても同様に組み替えて表示しています。

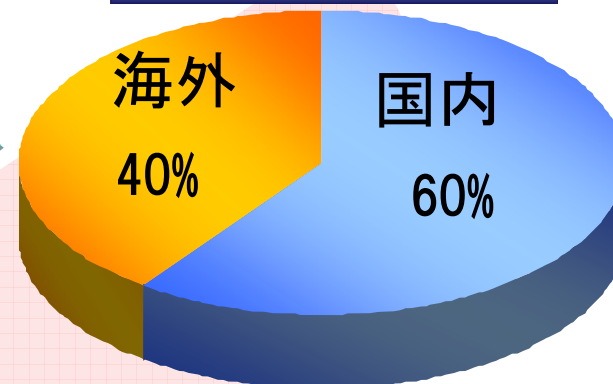
当社の基本戦略

1) 長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン (2010/4~2020/3)

The CHANGE 2020
-The Global Leader of Medical Solutions-

2,000億円以上

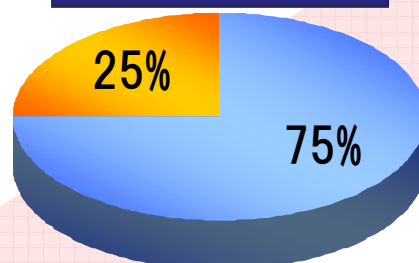


2020年3月期

中期経営計画
(2010/4~2013/3)

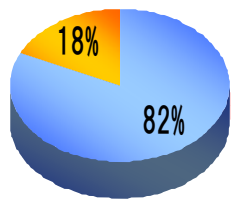
SPEED UP III

1,300億円



2013年3月期

売上高1,070億円



2010年3月期実績

2010年6月

政府の「新成長戦略」

ライフ・イノベーション

II

医療・介護・健康関連サービスの
需要に見合った産業育成と

雇用の創出、新規市場約50兆円、新規雇用284万人

2020年目標

2) 中期経営計画 数値目標

	2010/3 実績	2013/3 中期経営目標	3カ年 伸び率
売上高	1,070 億円	1,300 億円	21.5%
国内売上高	874 億円	975 億円	11.5%
海外売上高	195 億円	325 億円	66.0%
営業利益	93 億円	130 億円	39.5%
ROE	10.6%	12.0 %	

地域別海外売上高

米州	62 億円	94 億円	49.2%
欧州	58 億円	88 億円	50.1%
アジア州	65 億円	130 億円	99.8%
その他	9 億円	13 億円	43.2%

3) 中期経営計画 重要課題

SPEED UP III

1. 品質向上活動の推進
2. 技術開発力の強化
3. コア事業の拡大・強化
4. グローバル化の加速
5. 新規事業の創造
6. 企業体質の強化

4) 2011年3月期の取り組み

① 生体情報モニタリング事業ー1

欧州

- ・イギリス市場の強化
に向け、日本光電
UKを設立 2010年9月
- ・ルーマニアで大型入
札案件を獲得 2010年9月

日本

- 急性期病院に対する
販売展開の強化
- ・救急およびNICUサイトの
強化
- ・医療安全サポート推進

米国

バンダビルド大学による
Prefense™の医療安全・
経済的効果の研究結果
を発表 2010年5月



Prefense™の販売強化

①生体情報モニタリング事業ー2

先進国／新興国別にラインアップを強化

救急、手術室、ICU、一般病棟

先進国

ベッドサイドモニタ



2008/11発売

- ・トランスポート機能
- ・ビルトイン型入力ユニット

セントラルモニタ



下期発売
予定

- ・最大32人管理
- ・24型ワイドデュアルディスプレイ

Prefense™



ディスプレイ送信機



2009/6米国発売



2009/11発売

新興国

ベッドサイドモニタ



下期発売
予定

- ・新興国向け
中上位機種
- ・一体型

セントラルモニタ



中国
下期発売
予定

- ・初めての中国産
- ・コストパフォーマンスに優れた普及型セントラルモニタ

ベッドサイドモニタ



2009/11発売

High End

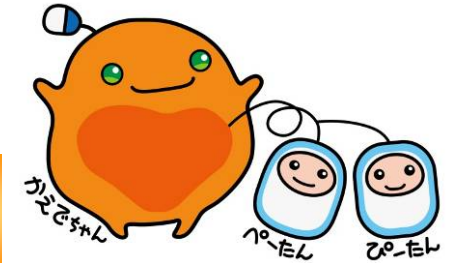
対応機能領域の幅

Low End

②治療機器事業の拡大・強化ー1

自社製AEDのラインアップ拡充

国内AED販売 上期実績 **10,500台** → 下期計画 **14,500台**



長寿命バッテリー搭載AED

現行品
2年バッテリー

+

新製品
4年バッテリー



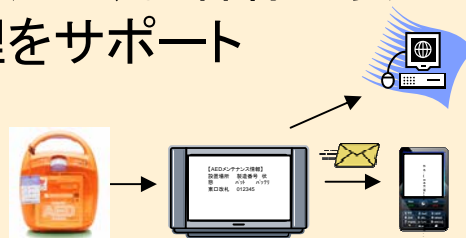
+



下期発売予定

AEDリモート監視システム

AEDに搭載のBluetooth※を活用し、お客様の安全管理をサポート



今期末発売予定

※AED-2100のみ

液晶ディスプレイ付AED

音声ガイドだけでなくイラストと文字表示で操作方法を確認できる。心電図表示も可能

2011年度上期発売予定

自社製AEDの 海外展開

海外AED販売実績

2009/9
200台

→

2010/9
2,000台

販売協力企業の拡充により、韓国での販売が本格化

②治療機器事業の拡大・強化ー2

メラン(HFO*¹人工呼吸器メーカー)
と独占販売契約を締結

国内販売

成人用



ハミルトン製

海外販売

新生児・小児用HFO



メラン製

成人用HFO



メラン製

新たなコア事業として
育成

- ・人工呼吸器に係わる医療事故を防止するシステムの自社開発
- ・人工呼吸器の共同開発

メラン社について

赤ちゃんの肺に優しい
人工呼吸法「HFO」を開発

新生児用HFOは国内
NICUの約9割に普及*²

成人用HFOは
ARDS*³治療の1つ
として世界的に注目



*1 HFO (high frequency oscillation) : 高頻度振動換気法。振動させた非常に少ない量の酸素を、高頻度にわたり肺に送り込む人工呼吸法。

*2 導入実績をベースにした当社推定。人工呼吸器(小児用)の2008年度金額シェアは23%(矢野経済研究所調べ)。

*3 ARDS(acute respiratory distress syndrome) : 急性呼吸窮迫症候群。臨床的に重症の状態の患者に突然起こる呼吸不全の一種。

③中国事業の強化

中国での普及機の開発・生産体制の構築

メディネット光電開発の
心電図マネジメントシステム
(EDS-CHINA(仮称))発売開始

心電計の販売に、システム化の要求

電子カルテ

下期発売予定

EDS-CHINA (仮称)

心電図マネジメント
システム



普及型セントラルモニタ
(CNS-9101)の
現地生産・発売開始

セントラルモニタ

下期発売予定



CNS-9101



ベッドサイドモニタ



血球計数器・試薬の
現地生産・発売開始

2010年8月



+



④新興国市場の拡大

■ 海外拠点

BRICS販売網の整備・拡大

ロシアの販売網整備

2010年6月

日本光電ヨーロッパが医療機器販売
大手Delrus社と総代理店契約締結

■ 下期予定

インドに販売拠点設立

従来の本社⇔現地代理店チャネルから
直販&現地代理店チャネルへ

ブラジルに販売拠点設立

2011年度上期予定

従来の中南米駐在員事務所
⇔現地代理店チャネルから
直販&現地代理店チャネルへ

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営企画室

【連絡先】 TEL03-5996-8003